

要約版

1書名	職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究 —平成22年度 金属・機械、運搬機械運転分野—				
2発行番号	調査研究報告書No. 150	3分野	訓練基準	4担当室	教材研究室
5目的					
<p>本研究は、職業能力開発促進法施行規則に定められている「普通職業訓練の普通課程職業訓練基準」について、技術・技能や能力開発ニーズの動向、訓練の実態等を調査し、公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設関係機関に職業訓練基準の適正な見直しや弾力的訓練の設定等に寄与しうる資料を提供するものである。平成22年度については、「金属・機械、運搬機械運転」について研究を行い報告書にまとめた。</p>					
6概要					
<p>金属・機械、運搬機械運転分野の16系36科を対象とし、「別表第2（普通課程）」を中心に、以下の①から④について検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①対象分野に係る産業や市場、人材育成ニーズ等の動向 ②対象分野の訓練科の設置状況と課題（公共訓練、認定訓練） ③訓練系・訓練科の見直し（分類、名称、仕上がり像、訓練時間、教科等） ④訓練基準の見直し（教科の細目、設備基準等） <p>検討に当たっては、民間、公共、関係機関などの職業訓練関係者で構成する研究会（委員11名）を組織した。研究会は、年間で計5回開催した。</p> <p>同時に、既往の様々な文献調査等の他、下記に示すように、訓練施設へのヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、運営実態や要望意見を収集しながら検討を進めた。</p> <p>(1) ヒアリング調査の実施</p> <p>研究会委員を中心とした職業能力開発施設へのヒアリング調査を行った。ヒアリング調査は「金属加工系」、「メカトロニクス系」、「第二種自動車系」は各2施設、「機械系」は1施設の合計6施設（1施設で2系あり）で行い、職業訓練基準見直しに対する要望・意見の聴取、意見交換、訓練現場の運営に関する貴重な見聞や課題の把握等、有益な情報が得られた。</p> <p>(2) 訓練基準見直しアンケート調査及びヒアリング調査の実施</p> <p>設置科の稀少な訓練科については、「訓練基準見直しアンケート調査」及びヒアリング調査を行った。アンケート調査は金属材料系、金属表面処理系(1科)、機械系(1科)、機械機器系(1科)、義肢・装具系、鉄道車両系、船舶系、機械整備系(2科)、揚重運搬機械運転系(1科)の9系13訓練科を対象とし、15施設より回答を得た。さらに2施設（2訓練科）については、「訓練基準見直しアンケート調査」の内容を確認するために、ヒアリング調査を行い、見直し提案の趣旨を把握した。</p> <p>研究会の討議や調査結果を踏まえて、(1)から(3)について調査研究報告書にまとめた。</p> <p>(1) 職業訓練基準の見直し検討及び提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①別表第2に示されている訓練系・専攻科、名称、教科目名、技能及び知識の範囲、訓練時間、設備の種別・名称の見直し ②必要に応じ、新訓練系・新訓練科の設置の検討（上記①の事項を含む） <p>(2) 職業訓練の細部基準の見直し検討及び提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「教科の細目」の必要に応じた見直し ②「設備の細目」の必要に応じた見直し ③「技能照査の基準の細目」の必要に応じた見直し ④ 新訓練系・新訓練科の訓練基準の提案 					

⑤モデル・カリキュラムの提案

(3) その他、産業技術・人材ニーズ・教育訓練の実態等に係る参考資料

なお、「金属・機械、運搬機械運転分野」の16系36科の「カリキュラム表」（別表第2+教科の細目表）、「設備の細目」、「技能照査の基準の細目」について、見直し提案の概要をまとめたものを表に示す。見直し提案の行われた項目については、教科や訓練時間等よりも「教科の細目」の学科や実技、そして「設備の細目」に関するものが多かった。また、設置科の多いものほど、見直し提案件数が多い傾向が見られた。

表 見直し提案の概要

系	科	カリキュラム表(別表第2+教科の細目表)						設備の細目	技能照査の基準の細目	設置科数		
		範囲	教科	訓練時間		教科の細目				公共	認定	計
				学科	実技	学科	実技					
金属材料系	(系基礎、4科計)	0	0	0	0	1	3	0	0	(0)	(13)	(13)
金属加工系	(系基礎:共通部分)	0	0	0	0	1	1	-	1	(24)	(57)	(81)
	塑性加工科	0	0	0	0	1	1	4	0	12	39	51
	溶接科	0	0	0	1	1	2	5	2	10	12	22
	構造物鉄工科	0	0	1	1	1	2	5	2	2	6	8
金属表面処理系	(系基礎、2科計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
機械系	(系基礎:共通部分)	0	0	0	0	3	1	-	1	(33)	(58)	(91)
	機械加工科	1	2	0	0	1	3	2	3	19	52	71
	精密加工科	0	2	0	0	1	3	2	3	7	6	13
	機械製図科	0	0	0	0	0	1	3	2	5	0	5
	機械技術科	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2
精密機器系	(系基礎、5科計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
義肢・装具系	(系基礎、1科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
第一種自動車系	(系基礎:共通部分)	0	0	0	0	0	0	-	1	(4)	(7)	(11)
	自動車製造科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
	自動車整備科	0	0	0	0	0	0	9	1	4	5	9
第二種自動車系	(系基礎:共通部分)	0	0	1	0	1	0	-	1	(71)	(0)	(71)
	自動車整備科	0	0	0	0	1	1	10	1	68	0	68
	自動車車体整備科	0	0	0	0	0	0	6	0	3	0	3
航空機系	(系基礎、2科計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄道車両系	(系基礎、1科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
船舶系	(系基礎、1科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
製材機械系	(系基礎、1科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械整備系	(系基礎、3科計)	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7
縫製機械系	(系基礎、1科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メカトロニクス系	(系基礎:共通部分)	0	0	3	0	2	1	-	0	(21)	(3)	(24)
	メカトロニクス科	0	0	1	1	0	1	2	0	21	3	24
揚重運搬機械運転系	(系基礎、3科計)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

注) カリキュラム表、設備の細目、技能照査の基準の細目の各々の数字は、今回、見直し提案を行った項目の件数。設置科数の()は、同一系の設置科数合計を示す。

7本書の活用方法

本報告書は、下記の分野で活用が期待される。

- ・都道府県等の職業能力開発関連機関及び民間職業訓練施設が行う、職業訓練コースの設置等に関する基礎資料。
- ・都道府県等の職業能力開発関連機関及び民間職業訓練施設が行う、職業訓練カリキュラム開発の参考資料。

注記 本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム

- ・能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/>